



コネクタ研究に全力を注ぐ 電気の流れをスムーズに！

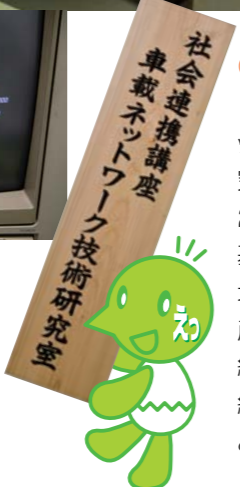
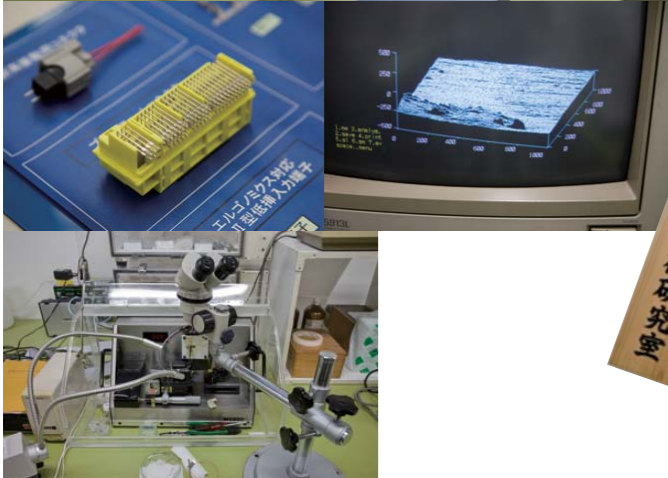


三重大学大学院工学研究科・客員教授
玉井 輝雄 Tamai, Terutaka

三重大学大学院工学研究科・教授
飯田 和生 Iida, Kazuo

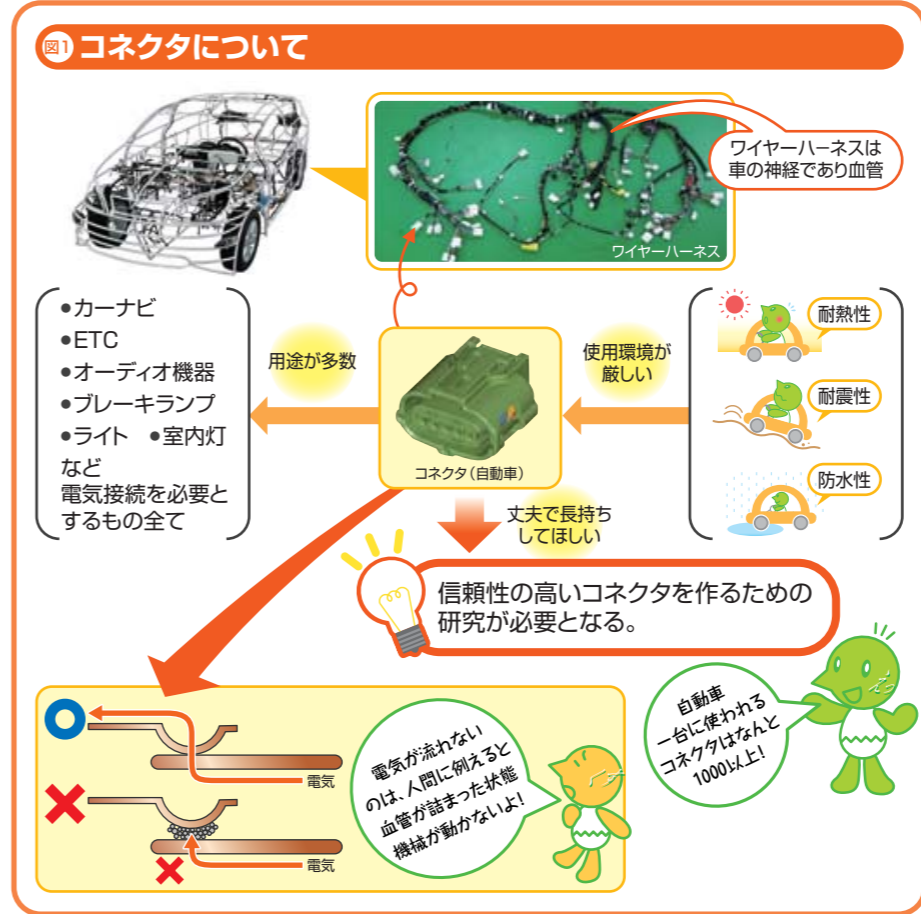
三重大学大学院工学研究科・准教授
齋藤 寧 Saitsu, Yasushi

[URL] <http://www.vnt.elec.mie-u.ac.jp/>



◎大学と企業が手を取って

工学研究科に設置されている社会連携講座「車載ネットワーク技術研究室」は オートネットワーク技術研究所との間で2005年5月に結んだ包括協定をもとに、2006年4月に生まれた研究室です。三重大学はその基本理念の中で「地域社会の発展」を1つの項目にあげ、地域の自治体と協力協定を結んでいます。三重大学と産業界では、オートネットワーク技術研究所との間で結ばれたのが最初で、その後たくさんの企業との間で結ばれ、社会連携講座の他にもプロジェクト研究室などが三重大学に設置されています。



◎信頼性の高いコネクタを作る

社会連携講座の研究テーマは「コネクタ」に関する研究です。(図1)コネクタは電気接続になくはない部品ですが、その研究は一見地味で、電気接続が上手いって当たり前と思われがちなため、大学では行われなくなりつつあります。しかしコネクタは電気電子部品の中で最も信頼性が低い部品と見なされていて、実際に故障の原因になっています。特に、車のように常に振動が加わる過酷な環境下に



◎必要は飽くなき研究の源

コネクタに関連する研究は、関係する産業分野から、その重要性和必要性のために、需要があります。このような研究テーマは、産学連携の仕組みを利用して進めることが今後の一つのやり方だと考えています。どんな場合にも電気の安定した流れを確保するために必要なコネクタの研究は、今後も必要不可欠でしょう。